

# TAKUの 我行我素

いつもみんなあいがとう！



ドラマはほとんど観ない俺ですが、中国の歴史ものだけは別です。というのも、ここんところ老眼が進んでくると、本を読むのがおっくうになってきますからね。活字でよりも映像作品でインプットするほうが断然効率がいい（笑）



どして中国か？ 広いし歴史長いですからね。そして何より、人が圧倒的に多いので、エピソードにはことかかない。ということで、俺の場合、常になにかしらの中国歴史ドラマを観ているってのがここ数年の習慣になっています。



人は色々な刺激を求めています、俺の場合は、人格完成への長い旅の“肥やし”になるような刺激が一番の好物なので、何を知り、何を観、何を聴くんでも、そのポイントが重要。



そういった意味では、他の何よりも中国の歴史や、そこに登場する人々からの刺激が一番だと思っています。



てゆかね、もし生まれ変わったとしたら、次はマジ歴史の先生になりたいと思ってますから俺。 国の将来にとって一番大切なのは教育。そしてその中でも一番肝心なのは、やっぱ歴史。



俺の中での心の師といえば、中村天風先生と藤岡弘、先生お二人なんですが、やはり日常生活の中では、場面によってその他にも色々な分野でお手本となる先人が必要になってきます。実存、架空、脚色されたイメージを問わず、自分の中に歴史上人物から選抜した何人かの先生というか、アドバイザーを描いているのもなかなか楽しいと思いますがいかがでしょうか？



もしどうしてもいいかわからなくなったりしたら、時には南宋の岳飛に、時には清の宦官の春児に、時には梁山泊の武松に、時には三国志の関羽に、時には秦の張儀に、心の中で相談してみればいい。彼等ならこんな時にどうしたか？みたいなね（笑）

それにしてもまだまだ道は遠いですね。心の湖の水面は、なかなか鏡のようにはなってくれません。

TAKU